

青森県立中央病院での主な業務について

1. 調剤業務

外来調剤と入院調剤があります。処方せん鑑査、疑義照会、計数調剤(一包化調剤)、散剤の計量調剤、分包、最終鑑査、薬の交付、患者さんに情報提供、相談応需。薬局では扱わない治療薬もあります。様々な薬剤や、最新の治療薬に携わりたいと考える方におすすめです。

2. 製剤業務

市販されていない薬を薬剤師が病院内で調製します。薬物治療ニーズに応じ、患者さんに合わせて薬を調製しています。

3. 注射調剤業務

薬剤師が処方せんを基に入院患者さんが使用する注射薬を1回分ずつ調剤しています。

4. 抗がん剤調製業務

抗がん剤の調製は、安全性を考え薬の専門家である薬剤師が行っています。アイソレーター内で抗がん剤からの曝露を防ぎながら無菌的に調剤しています。

5. 外来化学療法

がんの治療は、外来での治療が進んでいます。外来で抗がん剤を点滴する外来治療センターには、多くの薬剤師が活躍しています。レジメン(抗がん剤治療の計画書)チェック、抗がん剤の調製、抗がん剤治療の説明や副作用の確認、医師への処方提案などを行い、患者さんが安全で安心して治療ができるように関わっています。

6. 医薬品情報業務

DI室(Drug Information)とも呼ばれ、医薬品に関する情報を取り扱う部署です。医薬品を適正に安全に使用するためには、投与方法、投与量、副作用、相互作用などの様々な情報を収集します。そして医師、薬剤師、看護師などの医療従事者や、患者さんへ情報提供しています。

7. 治験業務

新薬開発の過程では、有効性と安全性の最終チェックとして治験が実施されます。当院の治験管理室において、薬剤師は治験薬の管理の他、治験審査委員会の運営や治験依頼者(製薬メーカー)との対応等の業務を行っています。

8. チーム医療

チーム医療は、医師や看護師だけでなく、事務職員なども含んだ多職種で構成されており、様々な専門家の意見を取り入れて治療に生かしていきます。チーム医療のジャンルによっては、薬について質問されることも多く、薬剤師としての職能を生かせる場でもあります。各医療スタッフは医師と対等な立場で意見を述べ、患者さんにとって最も効果的な治療法や方針が検討されます。

9. 病棟薬剤業務

病棟業務では、カルテや検査データを参照し、薬物治療の効果や副作用の発現を確認しています。改善が必要な場合は、医師に処方提案を行うこともあります。

10. 薬剤管理指導業務

入院中の患者さんに対して服薬指導を行います。最近では効果の高い薬剤が登場する反面、投与方法の複雑さもあり副作用もこれまで以上に注意が必要になりました。使用する薬剤についての説明し、既往歴、副作用の発現、服薬状況を確認し、医師や看護師などの他職種と情報を共有します。さらには退院に向けて、薬の自己管理指導や生活指導を行うこともあります。

11. その他

疑義照会とプレアボイド、認定薬剤師、災害医療、医薬品の管理、TDM(薬物治療モニタリング)、医療安全管理、療養センターなど

採用までのプロセス



※1 県知事部局(県内保健所等)に配置される場合があります。

※2 受験資格に定める資格・免許を取得できなかった場合は採用されません。

採用試験の有無を含む詳細については、4月頃に青森県立中央病院HPに掲載予定です。

勤務条件(福利厚生)

勤務時間と週休日

- 日勤 / 8:15~16:45 (休憩45分)
- 週休日 / 4週8休
- 夜勤 / 16:15~8:45 (休憩60分)

給与(支給例)

新卒者基本給	
大学卒	260,200円
各種手当	
期末勤勉手当(年2回)、扶養手当、住居手当、 通勤手当、寒冷地手当、時間外勤務手当 ほか、特殊勤務手当等の各種手当	



青森県立中央病院

住 所: 〒030-8553 青森県青森市東造道2丁目1-1
 T E L: 017-726-8111
 F A X: 017-726-8325
 病床数: 584床
 職員数: 1,630人 (令和8年1月現在)
 1日平均外来患者数: 1,224人 (令和6年度実績)
 1日平均入院患者数: 492人 (令和6年度実績)



募集内容
試験日程



JOIN US!
青森県立中央病院リクルートサイト

業務内容、勤務条件など、
詳しくはwebをご覧ください。

青森県立
中央病院

リクルートブック

薬剤師



県病公式
Instagram



薬剤師 成田さん

- 青森県弘前市出身 【職種・資格】
- 2016年度採用 ●薬剤師
- 青森大学卒業 ●日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師



詳しくは
webで!!



薬剤師 澤田さん

- 青森県青森市出身 【職種・資格】
- 2025年度採用 ●薬剤師
- 東京薬科大学卒業



詳しくは
webで!!



青森県立中央病院の教育・研修体制について

当院薬剤部では、認定薬剤師などの資格取得に対し、県内外での学会参加や他施設での研修など充実した支援を受けることができます。自己学習に励み、豊富な知識を身に着けたい方におすすめです。

今後の目標について

がん薬物療法専門薬剤師の資格取得を目指しています。がん薬物療法に必要な薬剤の管理、情報収集、評価を行いながら他職種と連携し患者さんへ安全で効果的な薬物治療を提供することを目的とした専門資格です。

当院の薬剤部には現在がん領域の他、感染制御認定薬剤師、HIV感染症認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師など、様々な分野に特化した知識を身に着けた薬剤師が在籍しています。

こんな資格を持つ職員が働いています！

認定指導薬剤師 …… 2名	漢方薬・生薬認定薬剤師 …… 2名	抗菌化学療法認定薬剤師 …… 1名
がん薬物療法認定薬剤師 …… 2名	日本糖尿病療養指導士 …… 4名	災害医療認定薬剤師 …… 1名
HIV認定指導薬剤師 …… 1名	青森県糖尿病療養指導士 …… 6名	スポーツファーマシスト …… 2名
感染制御認定薬剤師 …… 1名	緩和医療暫定指導薬剤師 …… 1名	骨粗鬆症マネージャー …… 1名
日病薬病院薬学認定薬剤師 …… 12名	緩和薬物療法認定薬剤師 …… 1名	青森県肝炎医療コーディネーター …… 1名
認定実務実習指導薬剤師 …… 5名	栄養サポートチーム専門療法士 …… 1名	DMAT隊員 …… 2名
研修認定薬剤師 …… 9名	外来がん治療専門薬剤師 …… 1名	原子力災害医療派遣チーム …… 1名

とある1日のスケジュール

正規勤務時間(8:15 ~ 16:45)

- 08:15 薬剤師外来で診察前面談、トレーニングレポート作成 ※病棟業務の日もあります
- 10:30 調剤業務(内服・注射処方せん)



- 13:00 昼休み
- 13:45 抗がん剤のレジメン鑑査
- 16:00 翌日分の抗がん剤ミキシングの準備
- 16:45 業務終了

現在の主な業務について

1年目の私は、主に調剤業務を担当しています。外来・入院の内服処方せんは一階の調剤室、注射処方せんは地下の管理室といったように、内服と注射は場所ごとに分かれています。

今までの業務の中で印象に残っていること

身体が不自由な患者さんに対して、近くまで寄り添って説明したり、出口まで車椅子を押して見送ったり、小さな積み重ねによりだんだんと患者さんが心を開いてくださり、素敵な笑顔を見ることが出来ました。

今後の目標について

まずはジェネラリストとして業務全般に対応できるような技能を身につけ、将来的には病棟業務に必要な知識を吸収し、スペシャリストを目指します。また、当院には感染制御認定薬剤師や、がん薬物療法認定薬剤師など、様々な資格を持つ薬剤師が在籍しています。呼吸器系の疾患に興味があり、私もそのような資格取得を目指し日々精進致します。

就職を考えている方へのメッセージ

臨床の場で要する技能・知識は、大学の授業で学ぶものだけでは足りず不安に感じるかもしれません。ただ、働くこと自体が日々勉強となり、分からないことは何でも聞けるような環境なので安心してください。

とある1日のスケジュール

正規勤務時間(8:15 ~ 16:45)

- 08:15 調剤業務(注射処方せん)
- 09:00 抗がん剤調剤業務
- 12:15 昼休み
- 13:00 療養センター (初診・入院決定の患者さんとの面談)
- 15:45 調剤業務(内服処方せん)



- 16:45 業務終了